仕様書

１　業務名

国道 367 号他排水施設浚渫作業

２　業務目的

道路排水施設に土砂や落ち葉が堆積し、排水機能が低下しているため、排水機能の回復させるために行う浚渫作業。

３　履行期限

令和８年１２月２５日まで

４　履行場所

①京都市左京区八瀬秋元町　　地内　国道 367 号
②京都市左京区大原勝林院町　地内　国道 367 号
③京都市左京区八瀬野瀬町　　地内　一般市道八瀬 223 号線
④京都市左京区大原井出町　　地内　大原 1 号線及び大原水 0222 号
⑤京都市左京区大原戸寺町　　地内　大原里 0276 号

５　業務範囲

別紙参照（箇所図、写真）

６　業務内容

⑴　人力、高速吸引車等により排水施設（側溝、集水桝、排水管渠）を浚渫する。（汚泥予定数量　約 7.5 ㎥）浚渫した土砂は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係法令に従い本市の指定する受入場所（左京土木みどり事務所より京都市伏見区深草神明講谷町 29 番地他、運搬距離 12.9㎞）まで、許可された車両で適正に運搬するものとする。なお、受託人は受入場所への搬出のみを行うものとし、処分費は本市が負担する（マニフェストは本市から交付する）。

⑵　契約にあたっては、委託契約書を取り交わす（受託後、別途指示する）。なお、受託人は、廃掃法第 14 条第 1 項に規定する許可（ただし、産業廃棄物収集運搬業許可証（以下「収集運搬の許可証」という。）に記載されている「事業の範囲」に「汚泥」が含まれていなければならない。）を、本市または京都府から受けている必要があるため、契約に先立って、本市担当者が指示する書類（収集運搬の許可証等）を提出すること。

⑶　汚泥以外に発生した廃棄物は適正に処理するものとし、運搬費及び処分費は本業務に含む。

⑷　業務完了後、完了届および写真（着手前、施工中、完成後）を提出する。

７　支払条件

業務完了後、履行場所（業務範囲）において適切に業務が履行されていることを確認のうえ、本業務に係る経費を支払う。

８　特記事項

⑴　作業に要する労務費、車両運転費、仮設資材、機械工具類の賃料・損料、消耗品費及び諸経費等の全ての費用は、本業務に含む。

⑵　通行車両等の安全を確保し、適切な規制のうえ作業すること。道路規制に伴う道路使用許可は、受注者において取得すること。

⑶　作業実施者の安全管理は、受注者の責任において行うこと。

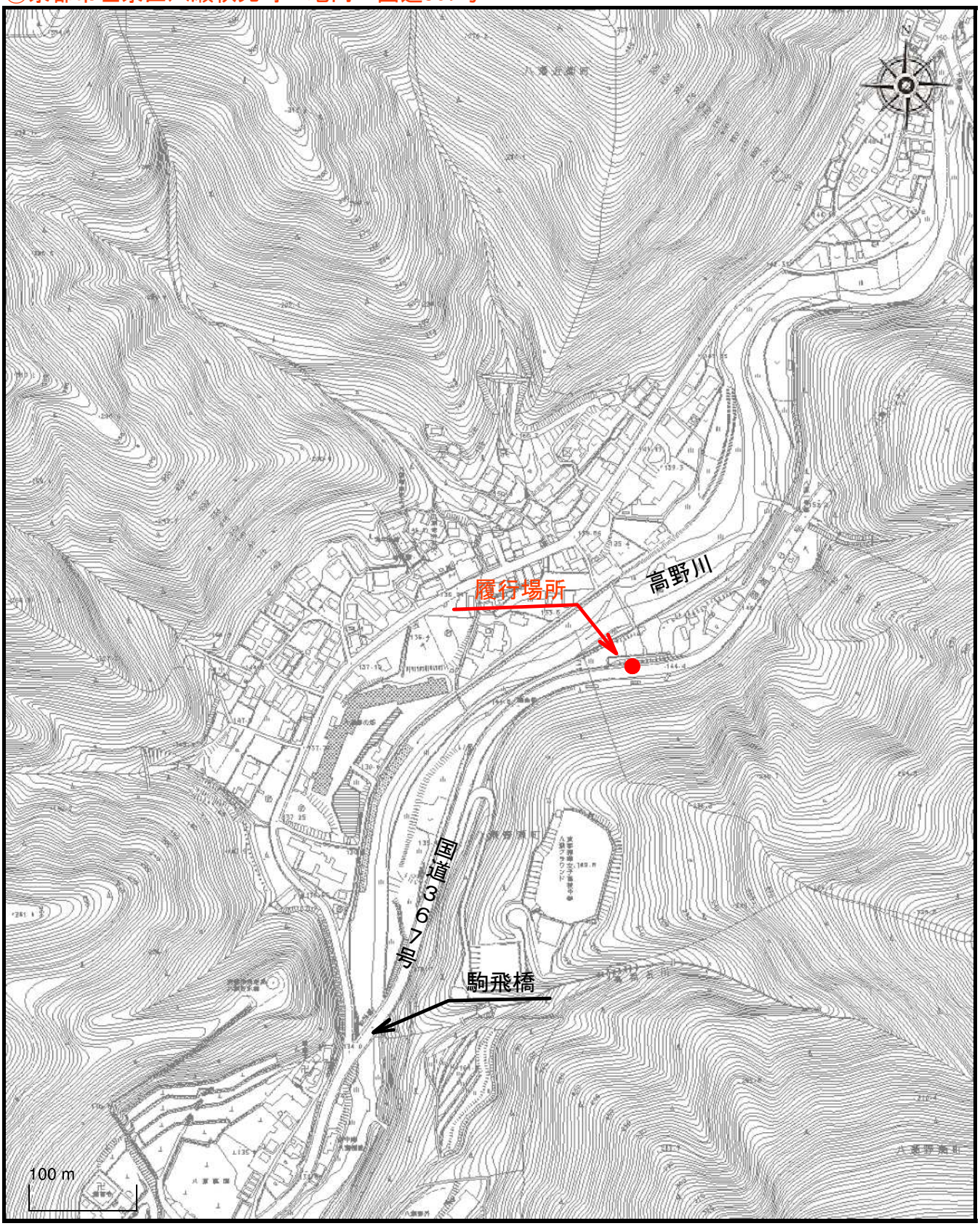
⑷　作業時間は原則として平日の午前９時から午後５時の間とする。

⑸　近隣住民へ事前に工事ビラ等で周知すること。

⑹　問題が生じた場合は、速やかに本市担当職員に連絡すること。事故等により第三者や他の工作物に損害を与えた場合は、受注者の責任において対応すること。

箇所図

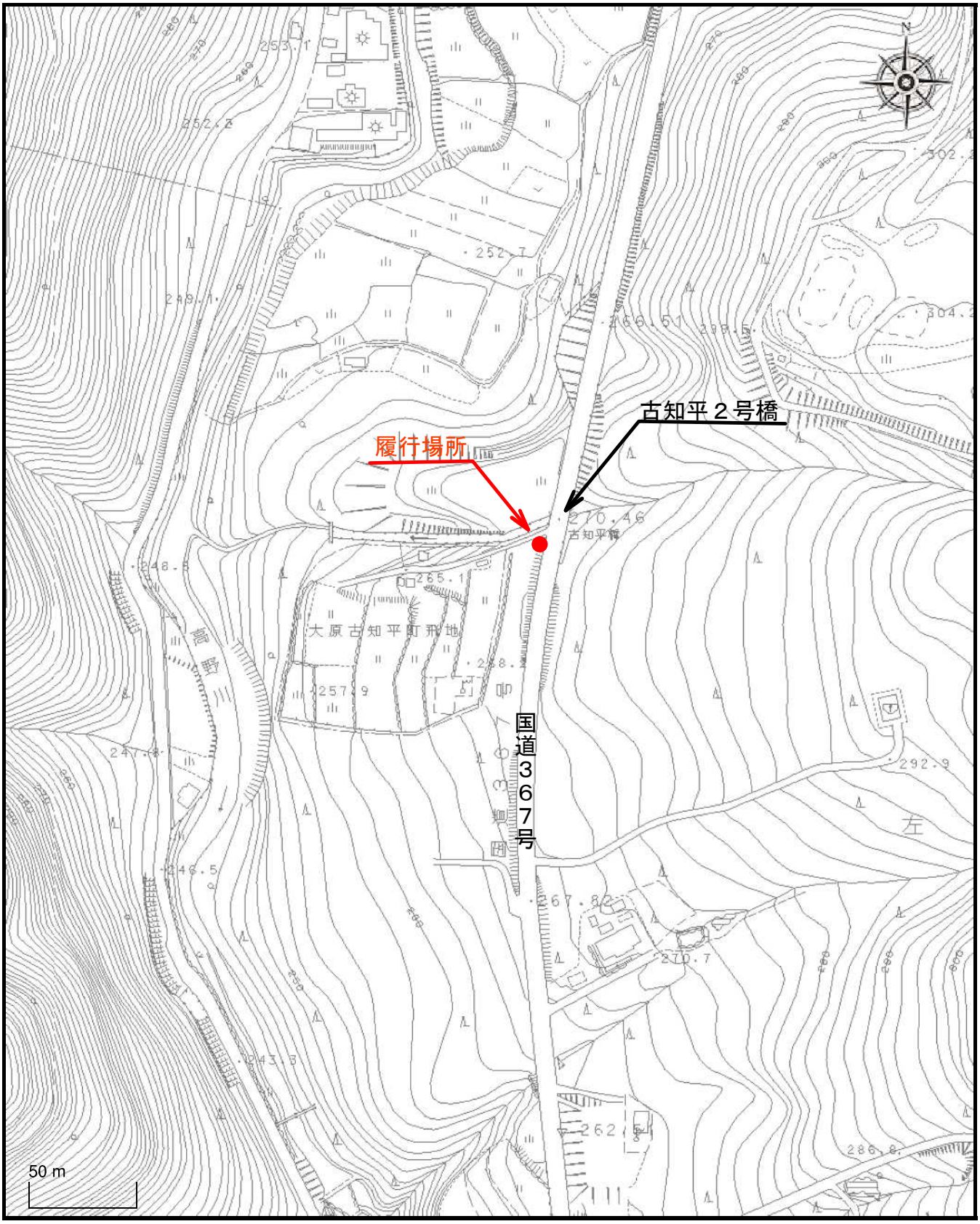
①京都市左京区八瀬秋元町　地内　国道367号



1 / 5000

箇所図

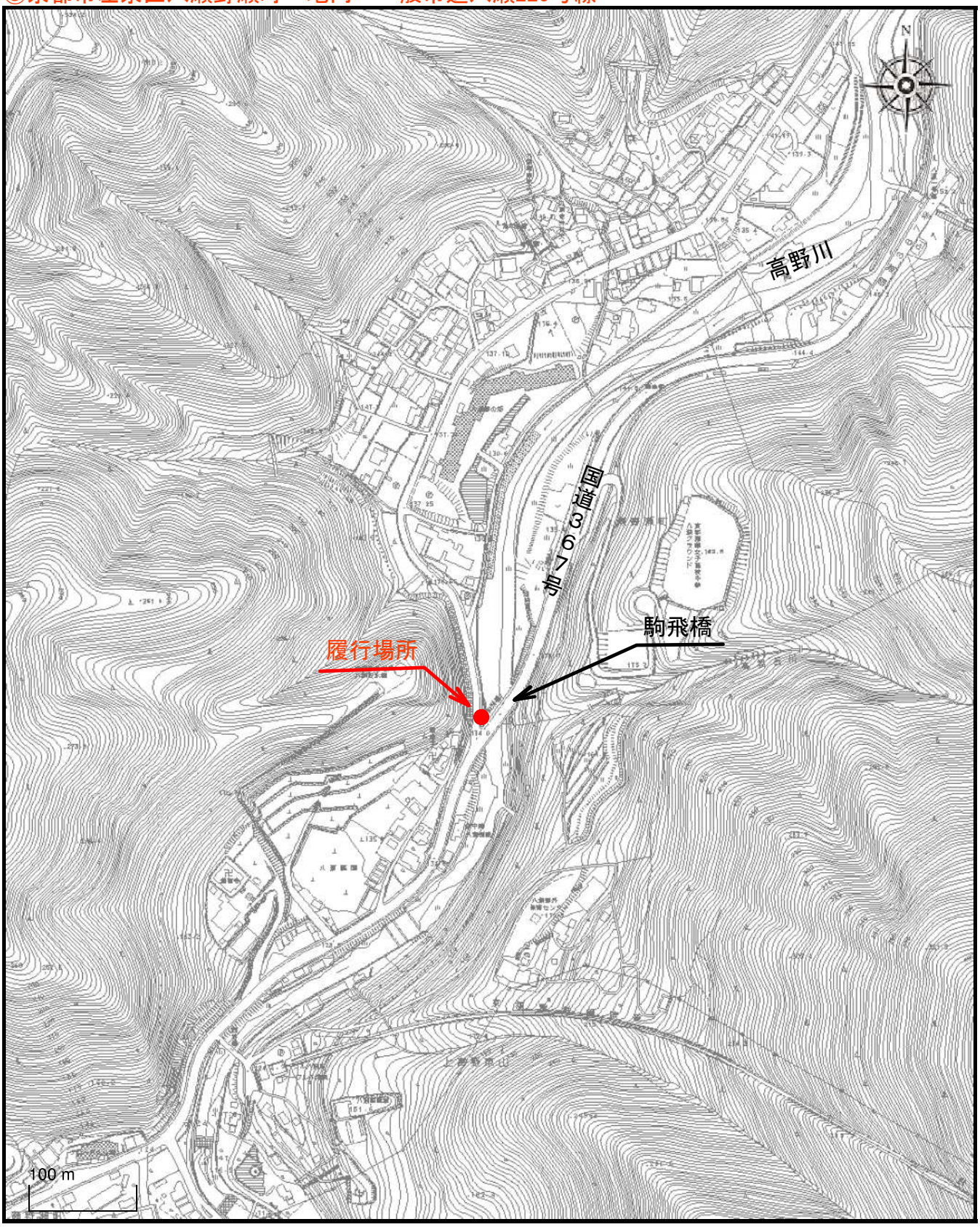
②京都市左京区大原勝林院町　地内　国道367号



1 / 2500

箇所図

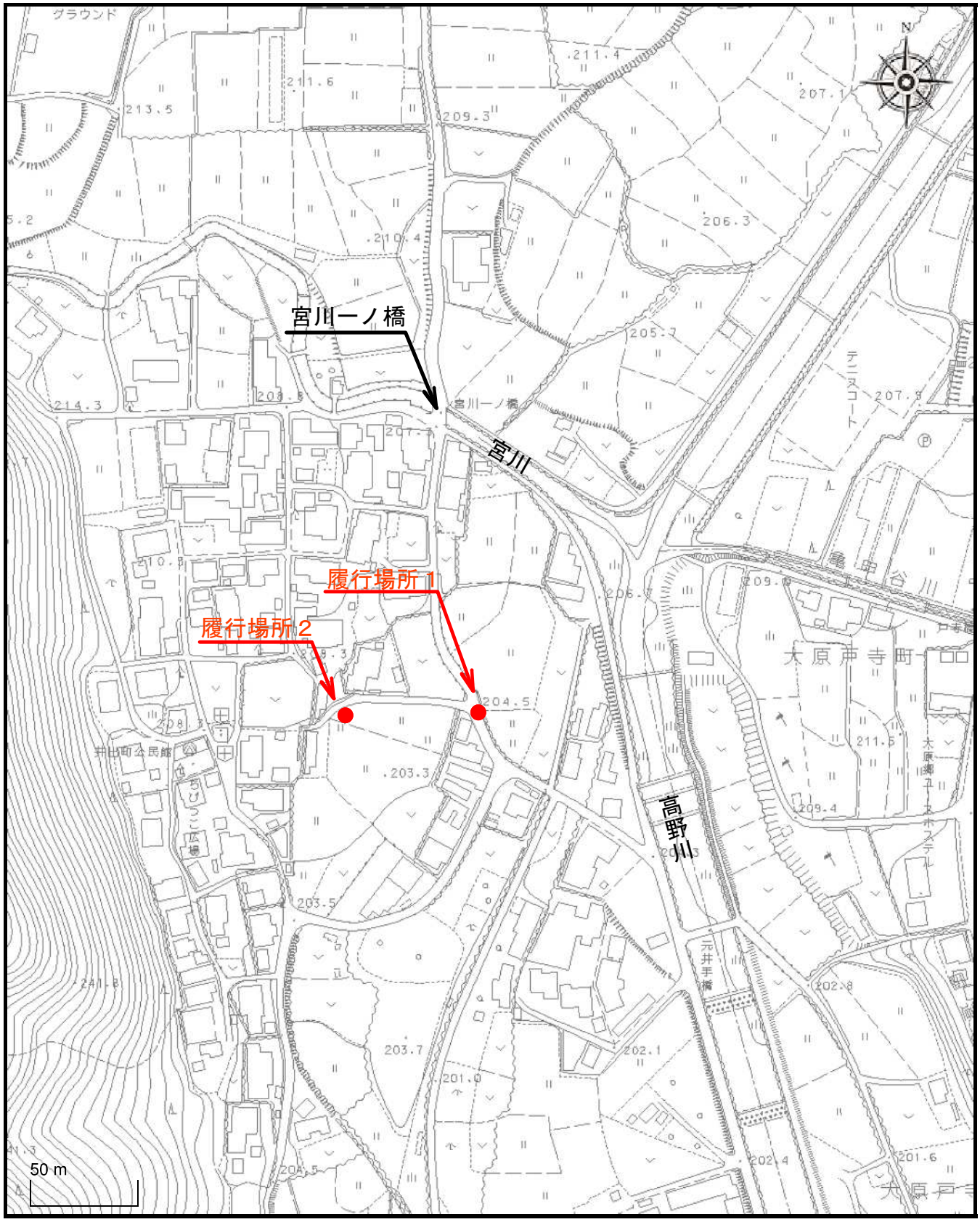
③京都市左京区八瀬野瀬町　地内　一般市道八瀬223号線



1 / 5000

箇所図

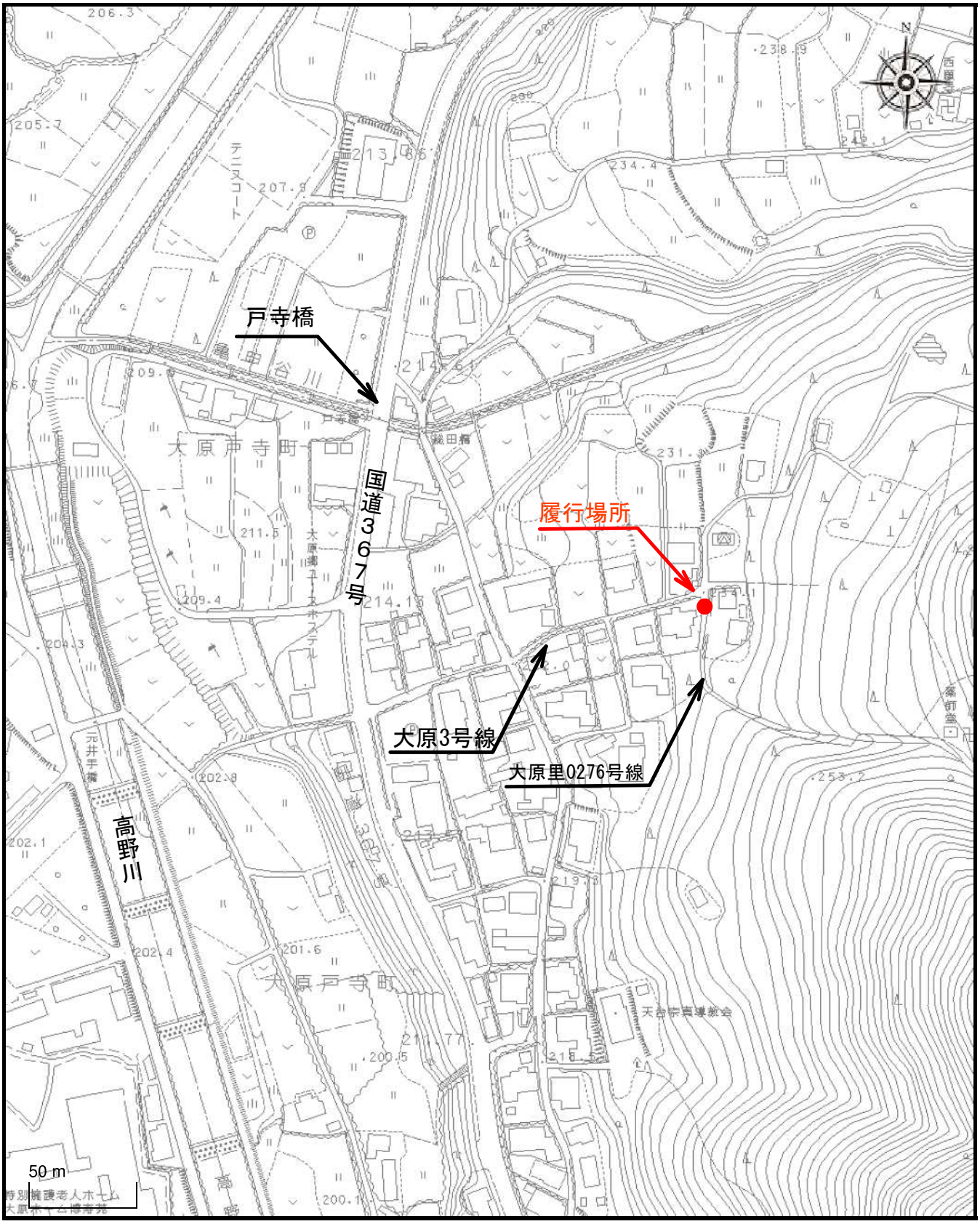
④京都市左京区大原井出町　地内　大原１号線及び大原水0222号



1 / 2500

箇所図

⑤京都市左京区大原戸寺町　地内　大原里0276号



1 / 2500

①京都市左京区八瀬秋元町　　地内　国道367号

排水管の浚渫
※浚渫後、排水機能が改善しているか確認すること。





流水は南側に流れていると思われる。

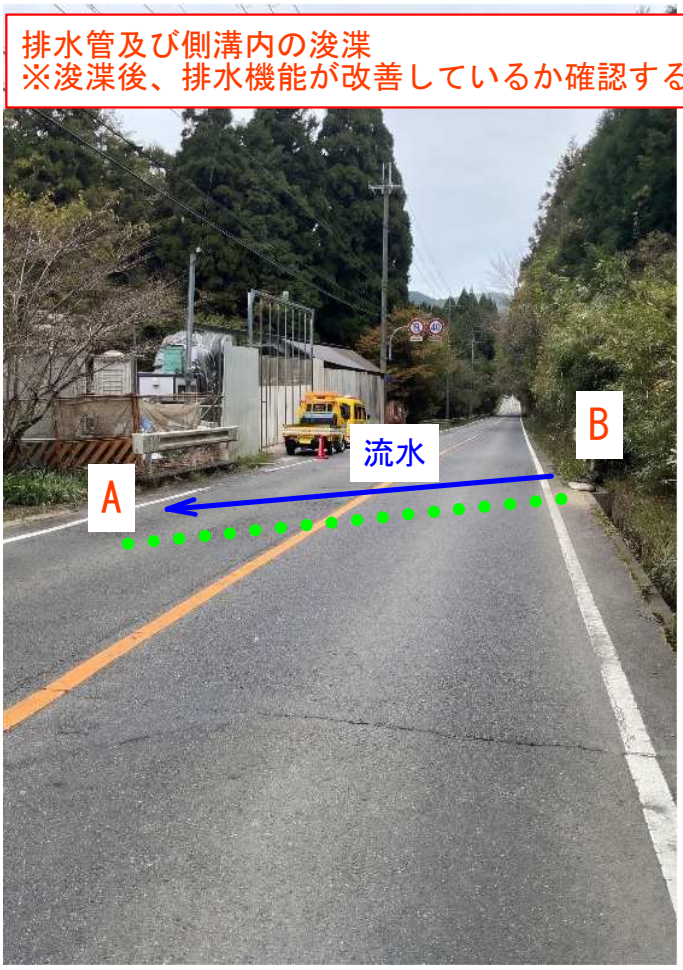


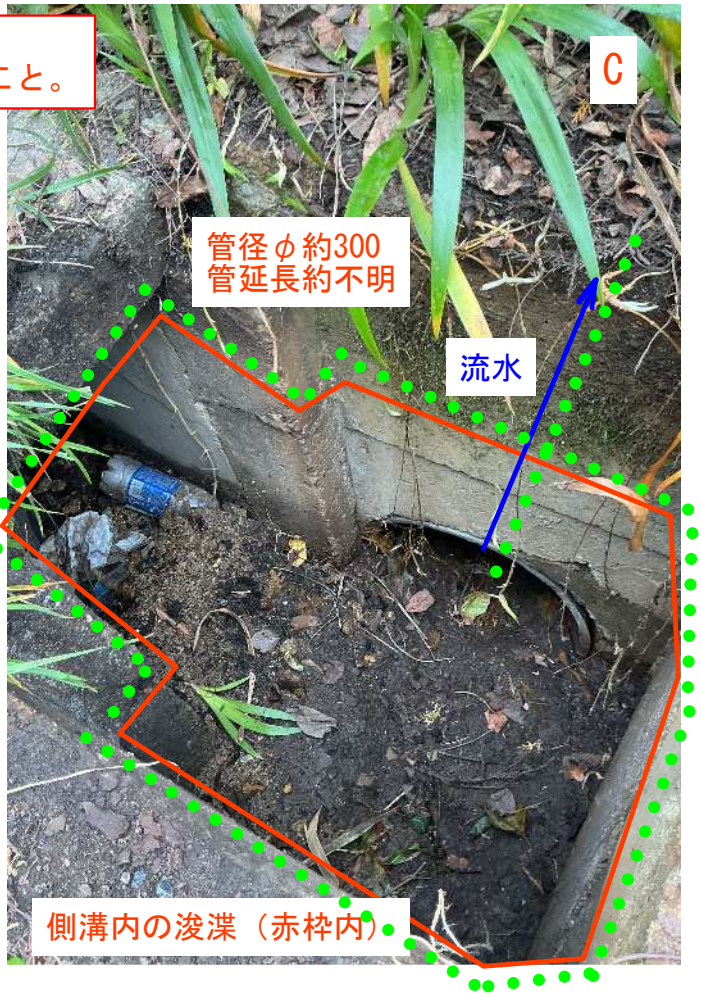


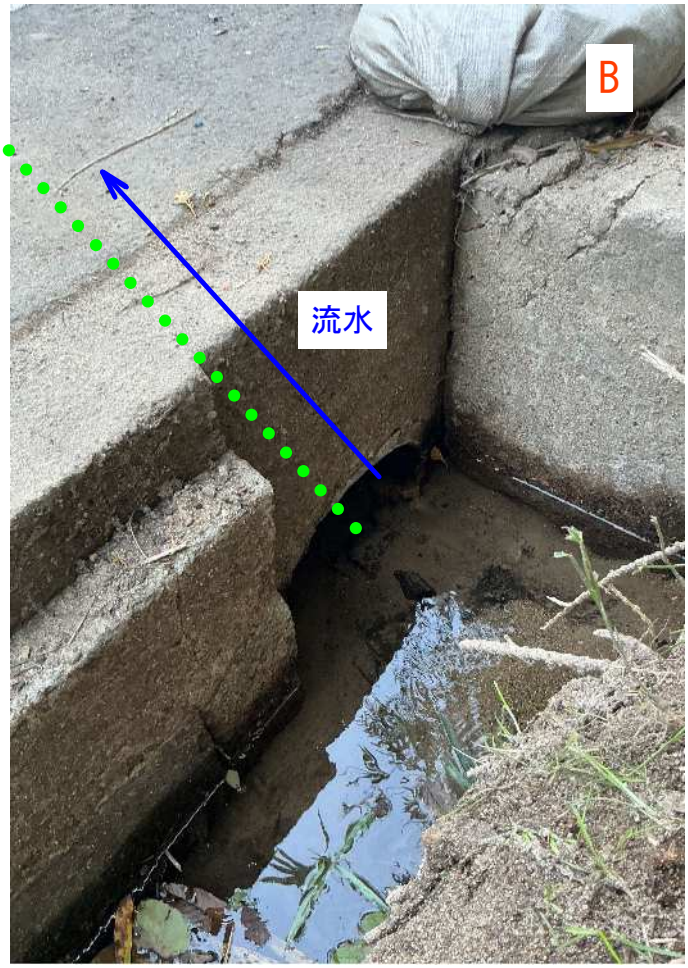
●●●●●●●●●　浚渫対象排水施設

②京都市左京区大原勝林院町　地内　国道367号

排水管及び側溝内の浚渫
※浚渫後、排水機能が改善しているか確認すること。







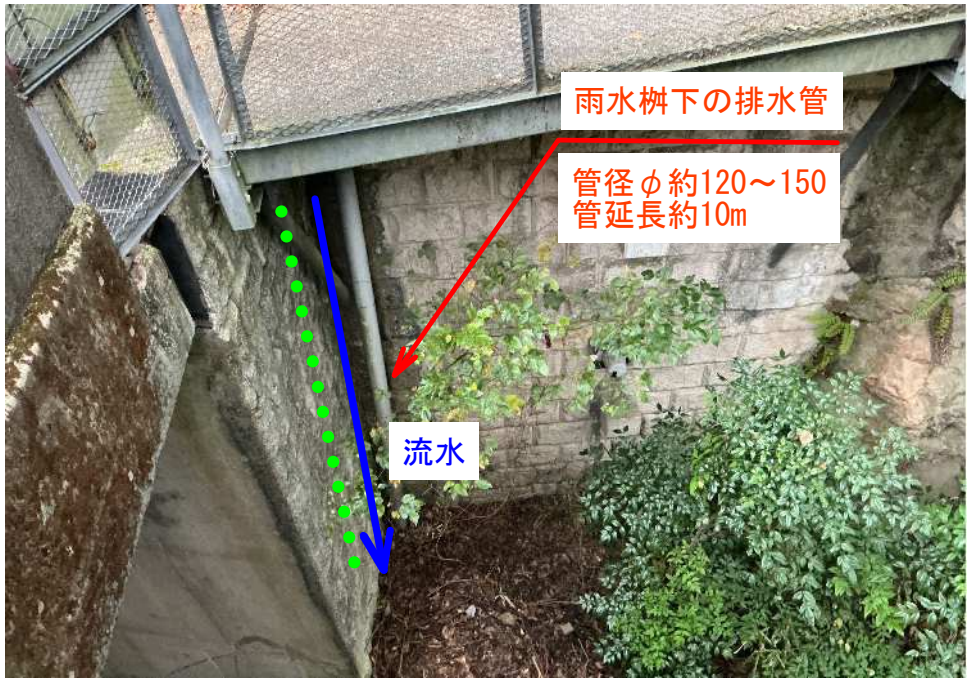


●●●●●●●●● 浚渫対象排水施設

③京都市左京区八瀬野瀬町　　地内　一般市道八瀬223号線

雨水桝及び排水管の浚渫
※浚渫後、排水機能が改善しているか確認すること。









●●●●●●●●● 浚渫対象排水施設

④京都市左京区大原井出町　　地内　大原１号線及び大原水0222号

履行場所１



側溝延長：8m
幅：0.3m
土砂堆積厚：約0.05m

※側溝内から出ている草等も撤去すること

履行場所２





管径φ約400
管延長：8.5m
土砂堆積厚：約0.03m

●●●●●●●●● 浚渫対象排水施設


※側溝内の土砂等の浚渫
（延長6m程度の範囲
土砂等の深さは10cm程度を想定）
浚渫後、側溝蓋のがたつきが無いよう
復旧すること